

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第12週の発生動向

トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

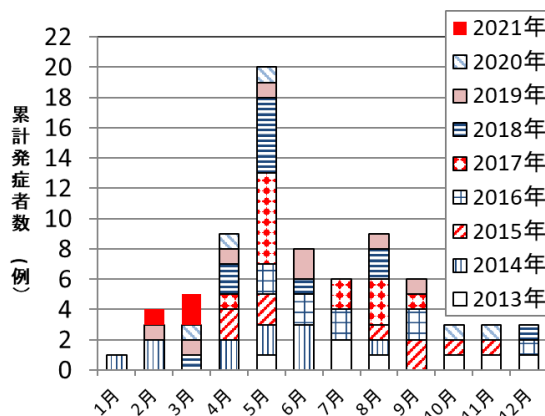
(全数報告の感染症) の報告が宮崎市、都城保健所管内からあった。患者は60歳代と70歳代のいずれも男性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計77例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	20	27	18	5

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が1例あり、2021年の累積報告数は1075例となった。

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



全数報告の感染症 (12週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核2例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群2例。
- 5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、水痘(入院例)1例、梅毒2例、播種性クリプトコックス症1例。

	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	左胸膜炎	発熱、胸痛
			70歳代	男	肺結核	咳、痰
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、O26(VT1)
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	男	—	血小板減少、白血球減少、斑状紅斑、肝障害
		都城	60歳代	男	—	発熱、筋肉痛、神経症状、下痢、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	都城	60歳代	男	—	発熱
	水痘(入院例)	宮崎市	5~9歳	女	臨床診断例	発熱、発疹、免疫不全、他疾患入院中の発症
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
播種性クリプトコックス症	宮崎市	70歳代	女	—	胸部異常陰影、中枢神経系病変	

新型コロナウイルス感染症 (12週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	保健所	年齢群	性別	症状等
新型コロナウイルス感染症	都城	50歳代	男	発熱、全身倦怠感

《前週との比較》

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は464人(定点当たり13.0)で、前週比86%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

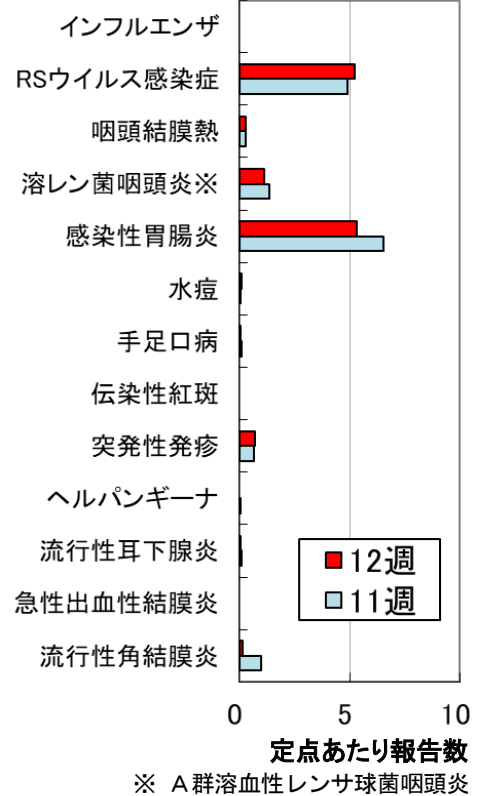
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

報告数は188人(5.2)で、前週比107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.56)の約9.4倍であった。中央(17.0)、宮崎市(10.3)、日南(7.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1～3歳が全体の約7割を占めた。

【感染性胃腸炎】

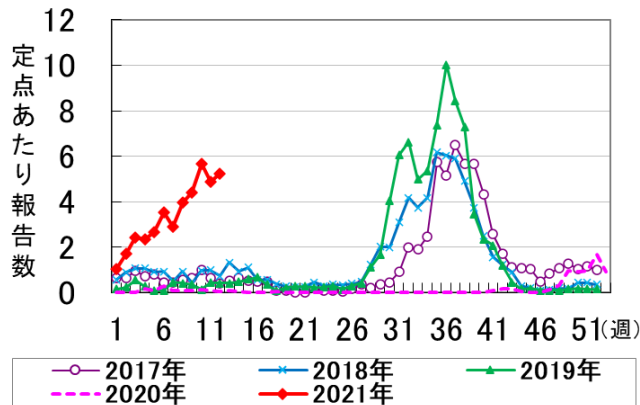
報告数は191人(5.3)で、前週比81%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(8.6)の約0.6倍であった。都城(13.5)、宮崎市(5.1)、日南、小林(4.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1～3歳が全体の約4割を占めた。



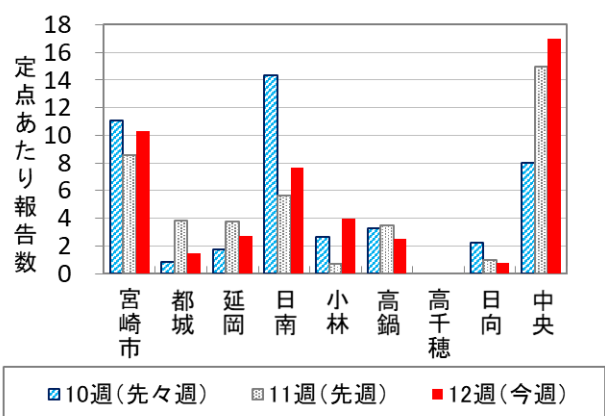
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

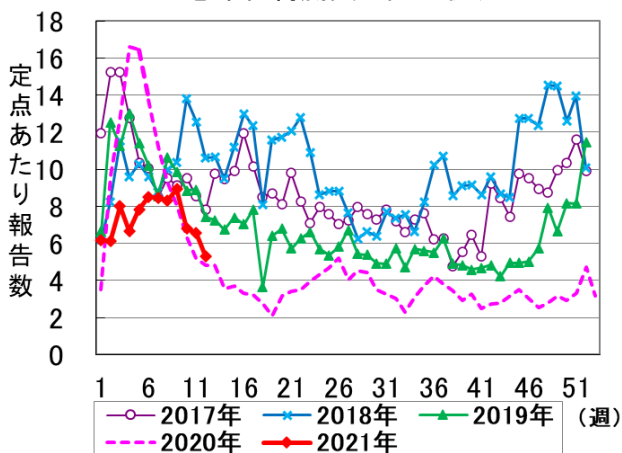
RSウイルス感染症 発生状況



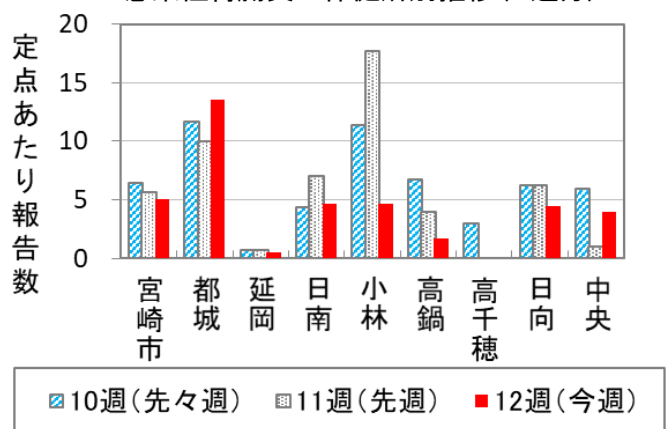
RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年3月29日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:HUT)	40歳代	女	2021.2.22	無症状	便	2021.3.5
EPEC(OUT:HUT)	10歳代	女	2021.2.24	胃腸炎(水様性下痢、腹痛)尿路生殖器症状(膀胱炎)	便	2021.3.9
EPEC(OUT:HUT)	10歳代	女	2021.2.24	胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2021.3.9
EPEC(O153:H21)	0~4歳	女	2021.3.8	胃腸炎(水様性下痢)	便	2021.3.16

○4名から腸管病原性大腸菌(EPEC)が分離された。EPECの判定基準はeae(インチミン遺伝子)陽性の大腸菌で、ST/LT/VTを持たない大腸菌とされる。EPECは細胞に強固に接着することで微絨毛などを破壊して下痢を引き起こす。乳幼児においては、しばしば重症化しコレラ様の脱水症状が見られることもある。EPEC感染症は成人においても発生し、食中毒の起因菌となる場合もある。

★ウイルス 報告なし。

🇯🇵 全国 2021 年第 11 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 11 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	255 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	13 例				
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	1 例	つつが虫病	2 例
	レジオネラ症	15 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	7 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	22 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例	後天性免疫不全症候群	15 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	11 例	梅毒	104 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	7 例				

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 92%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎、手足口病及び伝染性紅斑であった。
RSウイルス感染症の報告数は1,813人(0.58)で前週比100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.31)の約1.8倍であった。宮崎県(4.9)、佐賀県(4.7)、熊本県(4.3)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約7割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は8,264人(2.6)で前週比89%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.0)の約0.5倍であった。福井県(8.2)、宮崎県(6.6)、島根県(6.5)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

疾病名		第11週	第12週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	176	188	103	9	11	23	12	10		3	17
	定点当り	4.89	5.22	10.30	1.50	2.75	7.67	4.00	2.50	0.00	0.75	17.00
咽頭結膜熱	報告数	10	11	5	1		2	1				2
	定点当り	0.28	0.31	0.50	0.17	0.00	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	49	40	5	4	13	15			1	2	
	定点当り	1.36	1.11	0.50	0.67	3.25	5.00	0.00	0.00	1.00	0.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	236	191	51	81	2	14	14	7		18	4
	定点当り	6.56	5.31	5.10	13.50	0.50	4.67	4.67	1.75	0.00	4.50	4.00
水痘	報告数	2	4	2		1		1				
	定点当り	0.06	0.11	0.20	0.00	0.25	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	4	2	1		1						
	定点当り	0.11	0.06	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	24	25	10	3	6	4	1	1			
	定点当り	0.67	0.69	1.00	0.50	1.50	1.33	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	2		2							
	定点当り	0.11	0.06	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	1		1							
	定点当り	1.00	0.17	0.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～12週)

2類感染症	結核	31例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11例(1)		
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	3例(2)
	レジオネラ症	1例		つつが虫病
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	1例
	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例(1)
	梅毒	21例(2)	播種性クリプトコックス症	1例(1)
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	1075例(1)		カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1例 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2例 水痘(入院例) 1例(1) 百日咳 1例

()内は今週届出分、再掲